

**WVL**

**Presented by  
FAKESTAR**



**for adult only**





外出中はマスクをつけるんだから、  
髭を剃るのは見える部分だけでいいんじゃない？  
と、思い、鼻の下、顎上を少し伸ばしてみたんですが、  
その状態でマスクつけて外出したとき

## なんかアソコがポーポーな人の気分ってこんなかな？

とわけのわからない感情を抱いてしまいました。  
そんな個人サークルFAKESTAR代表、美春です。こんにちわ。

今回はロードスはロードスでも、  
DLソフトを扱っている「Steam」で販売していた  
「ディードリッド・イン・ワンダーラビリンズ」というゲームをプレイしての同人誌となります。

このゲーム、原作者の水野良氏が監修として携わっているだけあり、  
「ロードス島戦記」としての雰囲気非常に大切にされているように感じました。

メトロイドヴァニア系のアクションゲームですが、ゲームバランスや操作感も上々でした。  
難易度は少し甘いくらいでしょうか。  
テクニックがどうしても追いつかないプレイヤーは  
ゴールドを稼いで回復薬がぶ飲みで何とかできるため、  
攻略の選択肢も広く非常にプレイしやすかったです。

シナリオはネタばれになるので詳しくは言えませんが、  
「パーンが逝ってしまった後のストーリー」になります。  
私達ロードスファンが必ず来るとわかっている目をつぶっていた事に、  
原作者自らが一つの結論を出してくれたことは、私は素晴らしいことだと思います。

もし、このシナリオが当時のロードス完結2,3年辺りで発表されたなら  
納得できるものではなかったのかもしれない。

しかし、ロードス完結から時間がたち、私達も  
「もう、彼らは休んでもいいのではないか」  
と思えるようになった今だからこそ、このゲームのシナリオ、結末は納得のいくものとなっています。

当時、小説やOVAで胸を熱くした今はもういい年になったおっさん達にこそ、  
このゲームをオススメします。

## それはそれとして

やっぱりディードリッドはエロく、  
ゲームに出てくるモンスターによって…と妄想してしまいます。

おっさんになってもエロスが滾ってるんだよ！！  
と、いい話になりかけても結局はエロい妄想がはかどってしまった私は  
思わずペンを握ったのでした。



ある日、  
目が覚めると  
そこは家のベッドではなく



見知らぬ森の中だった

パーンがこの世から去り、  
生きる意味を見失いかけていた私は  
特に生に執着する気も起きなかつたが  
ひとまずはこの森を探索することにした



不用意な探索を続ける私は  
何度かモンスター達に襲われ、犯され、  
命の危機に晒されたが、  
意識を失うたびに、  
傷や装備の破損が修復され  
森の中に点在する  
女神像の前で目を覚ますのだった

段々と  
現実と夢の区別がつかなくなり、  
敵の存在に恐怖を感じなくなる

この森に来てから  
どのくらい立ったのだろう  
この森で犯され、殺される  
そのみが今、私に  
「生」を感じさせていた：



なぜかこの森のモンスター達は私を犯すことに強く執着している

ひ……ああ……

ん……うんっ

特にゴブリン達の性欲は強い仲間が殺されようと、自身が怪我を負おうと、私を犯そうと手を伸ばす  
初めの方は本気で抵抗していたが最近では抵抗も形だけだ

この森での出来事は全て「夢」だと割り切ったからあれほど憎んでいたゴブリンの愛撫すら快楽に置き換えることができた





ゴブリン達に荒々しく  
身体をまさぐられる

この森のゴブリンは  
私を犯す前に  
毎回私の身体中を舐めまわし、  
「アレ」を啜えさせる







熱う……ひい

イグッ

いつちやうう!!

ゴブリ……ン……  
ち○ほお……でえ……

いつちやうう!!

何度目かもうわからないほど  
ゴブリンの精を腹の奥に放たれ  
ようやく意識を手放す

驚くほど薄くなった嫌悪感  
それどころか  
犯されたことよっての快楽と  
中にだされた満足感が  
まどろみのなかで私を満たした







宙吊りにされ  
何度も犯され絶頂させられる…  
エスノアは私がまき散らす  
汗、愛液、尿を美味しそうにする

エスノアが満足するより先に  
私の意識が途切れた…

いいよおっ

イグうっ

あひっ

おほあ  
ああ  
あっ



森の深奥には遺跡があり、  
宝箱がいくつもあった  
が、そのほぼ全てが  
チェストイミテーターだった

宝箱を開けるたびに  
何度も引きずり込まれ  
何度も犯された

どれだけがいても  
そのスライムのような身体に  
捕らわれた後は  
逃れることは出来ない

やめろ……  
とかさないでえ……っ!!

粘液は衣服を溶かし  
むき出しになった私の肌に  
ゼリー状の触手が這い回り  
性感帯を刺激する







発行 FAKESTAR  
代表 美春  
2021 0731 初版  
印刷 ヨクスル 様

web 眼鏡と銃と黒  
<http://www.113.sakura.ne.jp/~fake/fakestar@proof.ocn.ne.jp>



**W/L** 成 for  
人 Adult  
向 Only